

第3回デジタル学園祭「全国情報教育コンテスト(略称:全情コン)」 審査基準

第3回デジタル学園祭「全国情報教育コンテスト」の審査においては、以下に掲げる部門毎の観点について審査を行います。

項目	配点	評価基準
1. 社会的貢献・実用性	15点	<p>提案された作品が、社会の課題に対してどれだけ意味のある価値を提供し、現実に受け入れられるかを評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 課題の妥当性・重要性(5点) ● 解決策の実現性・妥当性(5点) ● 利用シーン・波及効果・社会受容性(5点)
2. ユーザー体験と使いやすさの設計	15点	<p>技術やアイデアが、利用者にとって分かりやすく、使いやすく、安全に扱える形に設計されているかを評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 直感的な操作性(5点) ● 視認性・操作性の確かさ(5点) ● 多様な利用者への受容性(5点)
3. 情報Ⅰレベルの知識理解と活用	15点	<p>情報Ⅰで扱う基礎概念や考え方を適切に活用し、問題解決に応用できているかを評価します。(※科目履修の有無は不問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● データの扱い・情報の整理の適切さ(5点) ● アルゴリズムの理解と処理の設計(5点) ● 技術選択・プログラム構成の妥当性(5点)
4. 探究的な学び	15点	<p>問題設定から調査、試行錯誤、振り返りまで、探究のプロセスをどれだけ丁寧に行なったかを評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 情報収集・分析(5点) ● 試行錯誤のプロセス(5点) ● 振り返りと発展的な見通し(5点)
5. 革新性(アイデア／技術)	10点	<p>独創的な視点や、新しい仕組み・方法を生み出しているかを評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 独創的な発想・新しい切り口(5点) ● 技術的な新規性・挑戦性(5点)
6. 倫理的配慮と法的遵守	10点	<p>作品が社会的・法的に適切な形で設計・実装されているかを評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● プライバシー保護への配慮 ● データの安全性・セキュリティ ● 著作権・ライセンスの適切な扱い ● AI・IoT利用時の倫理的課題への配慮 ● 社会・環境などへの配慮
7. 完成度	10点	<p>作品がどれだけ安定して動作し、設計通りに機能しているかを評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 動作の安定性 ● コード・回路等の品質 ● 実装の丁寧さ・統合性 ● 実際に使える状態に達しているか
8. プレゼンテーション能力・説明力	10点	<p>作品の魅力やポイントを、第三者に分かりやすく伝えられているかを評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 説明の論理性・構成(5点) ● 視覚資料(スライド等)のわかりやすさ(5点)

総合点数: 100点